

## 四天王寺和らぎ苑

和らぎ苑では、『宣言』の実践のために障がいを持つご利用者が安心して暮らせる和らぎ苑をご家族とともにつくることを目指して、『和らぎ苑の誓い』を定め、実践を積み重ねた。

結果、実現のために、次の具体的な7つのビジョンを策定した。

1、理念の継承。2、ご利用者中心の医療、療養介護。3、よいチームワーク。4、安全で安心な施設。5、知識、技術の向上、教育システムの確立。6、地域のための施設。7、経済的安定。

以上を今後の運営方針の基にしたいと考える。

### ～事業活動報告～

#### (1) 理念の伝承

各部署単位での朝礼のみならず、全体朝礼を定期開催し、宣言の浸透を図った。

宣言の具現化の成果として、実践報告会を開催した。

#### (2) ご利用者中心の医療、療養介護

多職種からなる利用者個々の事例検討会を合同カンファレンスとして実施し定着させた。

人工呼吸器等医療ニーズに対応するべく、人員体制並びに設備等の環境整備に取り組んだ。

#### (3) よいチームワーク

サービス管理責任者を中心に多職種からなる、個別支援計画や虐待防止に関する検討会を重ねそれぞれの専門領域からの見解を基にした利用者支援計画の内容を深めた。

#### (4) 安全で安心な施設

医療安全、感染症対策等、年間500件を超えるインシデントアクシデントレポートをもとに原因分析から再発防止策を多職種からなるカンファレンスで立案し、実践を行った。

#### (5) 知識、技術の向上、教育システムの確立

各専門領域毎、あるいは全職員共通の技術習得の為内外研修計画を立案し参加した。

次世代の組織マネジメントリーダー候補者を指名し、養成を図った。

#### (6) 地域のための施設

地域の民生委員、自治会、CSW等と共同し、地域貢献活動として、地域イベントに協力し、地域の児童250名を施設へ招待することができた。

#### (7) 経済的安定

収入は前年度増としたが、突発的な要因も重なり支出が計画を大幅に上回った。経費削減をこれからの重点課題と捉え、基幹設備更新等、将来資金の確保を計画的に行いたい。

### ～改善活動～

(1) 各関係機関との連携により府外広域でお困りな緊急短期入所利用者の受入れを行った。

(2) 福祉有償運送サービスの開始については、準備を継続することに留まった。

(3) 発達外来及びリハ・歯科等、増収となった。

(4) 臨床心理士の地域活動強化の為、関係機関との協働を進めた。

(5) 療育環境の改善の為、専門委員会を立上げ、中長期の計画を検討した。

(6) 防災、災害に向けて、計画とおり実践訓練を実施した。

以上